

令和6年度 事業計画・収支予算
【新潟県立吉田病院】

医療法人 愛広会

【令和6年度 事業計画】

1. 基本理念、基本方針

1) 基本理念

『私たちは、地域の皆様の健康を守るため、信頼され選ばれる病院を目指します。』

2) 基本方針

- ① 患者さま本位の医療を提供し、QOL（生活の質）の向上に努めます。
- ② 多職種連携のもとで、良質かつ安全な医療の提供に努めます。
- ③ 患者さまの機能回復と、住み慣れた地域への復帰の支援に努めます。
- ④ 地域の様々な機関との連携を深め、地域包括ケアシステムの実現に努めます。
- ⑤ 安定した病院経営を行い、永続的な地域医療への貢献に努めます。

2. 病院の基本情報

1) 組織図

※添付資料参照

2) 入院機能

【現状】

合計	急性期一般	地域包括ケア	小児慢性
110床	84床	11床	15床

【運営移行後】※令和6年度中に病床機能を転換予定

合計	急性期一般	地域包括ケア	小児慢性	回復期リハ
110床	24床	36床	15床	35床

3) 外来診療科と医師数

診療科	常勤	非常勤	診療科	常勤	非常勤
消化器内科	5	7	小児科（子どもの心診療科含む）	3	4
呼吸器内科	1		眼科	1	
血液内科	1		歯科口腔外科	1	3
総合診療科	1		リハビリテーション科		1
循環器内科		1	整形外科		1
腎・膠原病		2	婦人科		1
糖尿病・内分泌		5	耳鼻咽喉科		3

3. 診療・経営の質の向上

1) 外来・入院患者数の推計（目標）

【1日当たりの患者数】

	R3年度実績 (通年)	R4年度実績 (通年)	R5年度実績 (R6年1月末累計)	R6年度推計 (通年目標)
外来	337.2	326.9	304.9	297.9人
入院	76.2	70.1	68.2	74.8人

2) 診療機能の維持・充実

①基本的な考え方

□燕市及び弥彦村で唯一の病院となることから、地域のかかりつけ病院として外来7科の外来機能を維持するとともに、ポストアキュート・サブアキュートの機能を担っていくために、2つの病棟を地域包括ケアと回復期リハビリテーションの病棟に早期に転換を図り、在宅復帰及び在宅療養に向けた支援を実践する。

②消化器内視鏡センターの機能拡充

□令和6年度より消化器内科の常勤医を5名に増員し、外来を毎日2診体制、上部・下部内視鏡の検査を合わせて週17列、内視鏡による治療日を週3日整え、検査・治療の機能拡充を図る。

③リハビリテーション提供体制の整備

□リハビリ職を現在の5名から16名に増員し、地域包括ケア病床では1日平均2単位以上、回復期リハビリテーション病床では1日平均7単位以上のリハビリを提供し、早期の機能回復による在宅復帰を支援する。また、リハビリ職の増員を図り、令和6年度中に365日のリハビリテーション提供体制に移行する。

④総合診療科の新規開設

□令和6年4月より総合診療科の外来を新規に毎日開設し、新規外来患者の受け入れと、平日日中における救急患者の受け入れ体制の強化を図る。

⑤子どもの心診療科に関する医療

□医師体制を維持するとともに、知能検査及び集団療法等の体制強化に向け、臨床心理士の増員を図る。

⑥人工透析に関する医療

□人工透析を担当する常勤医師不在の中で、済生会新潟県央基幹病院や他の医療機関からの応援医師の協力を仰ぎ、腹膜透析の患者を除き現患者の透析治療を維持する。

⑦入退院支援の強化

- 患者サポートセンターの職員体制を現行から医療相談員を増員し、速やかな入院受入と繋げる退院支援に取り組み、地域の中で医療と介護をつなぐハブ的な役割を実践する。

⑧地元自治体等との連携

- 地元自治体等と連携のもとで、地域住民向けの公開講座や健康教室等を開催し、健康意識の醸成に向けた啓発活動に取り組む。

⑨訪問看護ステーションの開設

- 令和6年4月に訪問看護ステーションを開設し、医療依存度が残る患者等に対して切れ目のない看護・リハビリの支援を実践するとともに、他の在宅高齢者に安心して住み慣れた自宅での生活が継続できるよう支援する。

4. 人財の確保状況と職員の育成・教育

1) 職員配置計画

職種	配置計画数	確保見込数	不足数	備考
看護師（病棟）	50	48	2	外来等他部署からの応援で対応予定
看護師（外来）	25	22	3	業務改善による配置数削減を検討
看護師（手術・内視鏡）	7	7	0	曜日・時間帯によって不足する場合は透析室から応援
看護師（透析室）	10	10	0	
看護師（患サポ）	3	3	0	
介護職（病棟）	18	15	3	夜勤配置のない2病棟で配置数を調整
リハビリ職	16	16	0	365日リハの提供に向け採用活動を継続
臨床工学技士	6	5	1	現状の2名から増員し透析室の体制を変更
薬剤師	5	5	0	
診療放射線技師	5	5	0	
臨床検査技師	12	11	1	採用活動を継続中
視能訓練士	4	4	0	全職員を常勤化し検査体制を強化
管理栄養士	2	2	0	
歯科衛生士	2	2	0	
臨床心理士	2	1	1	体制強化に向けて1名増員を計画
事務系職員	26	22	4	医療クランクで2名不足
合計	193	178	15	不足職種については採用活動を継続

2) 職員の育成・教育

①法人研修制度の活用

- 法人の研修制度に位置付けられている「中途採用者研修」「専門分野研修」「階層別研修」の各プログラムを年間実施計画に基づき開催し、知識・スキルの底上げと病院内でのスタンダードの共有を図る。

②グループ内病院研修

- 新潟医療福祉大学や新潟市民病院からの協力のもとで、NSGグループ内の5病院合同研修の開催により、基礎から応用まで幅広い知識・スキルの習得を図るとともに、各病院の課題の共有と解決策の検討により、連携・協力体制を構築する。

5. 経営改善の取り組み

1) 収益の確保

①患者増に向けた取り組み

- 企業健康診断等の受け入れ体制を整え、健診受診者の拡大とそれに伴う内視鏡検査・治療の件数拡大を図り集患につなげる。
- 総合診療科の開設により、新規外来患者の受け入れ体制強化を図り、外来患者の増加を目指す。また、総合診療科での救急患者受け入れを各消防署に周知し、年間200件以上の救急患者受け入れを目指す。
- 地域の開業医との関係構築に努め、紹介患者の増加を目指す。
- 臨床心理士の増員を図り、子どもの心診療科の検査及び集団療法の体制充実により患者の増加を目指す。
- 済生会新潟県央基幹病院から転院患者を迅速に受け入れるとともに、脳血管疾患に対応する県域外の急性期病院との関係を構築し、地域包括ケア病棟及び回復期リハビリテーション病棟の入院患者獲得を図る。

②入院患者単価向上に向けた取り組み

- 回復期リハビリテーション病棟開設後、早期に入院基本料の段階を上げるとともに、1日平均7単位以上のリハビリを提供することで、入院患者1人当たりの単価向上を目指す。
- 診療報酬改定に係る勉強会を開催し、改定内容を熟知した上で、効果的な加算算定など積極的に取り組み単価向上を図る。

2) 支出の削減

①各種契約の見直し

- 各契約の仕様内容等を見直しや取引業者の変更等により、業務委託費を中心に支出削減を図る。

②適正配置職員数の検討

- 医療再編による患者数や患者層の変化を把握し、適正な職員の配置人数を精査する。
- 患者に混乱が生じない範囲で業務内容や体制を見直し、必要職員数の削減を図る。

③購入物品等の単価見直し

- 法人内における購入単価と比較し、必要に応じて値下げ交渉を行うほか、グループのスケールメリットを活用して経費削減に取り組む。

6. 目標管理（KPIの設定）

1) 収入面

区分	項目	単位	R4年度実績	R5年度実績	R6年度KPI
外来診療	1日当たりの患者数	人	326.9人	304.9人	297.9人
	1人1日当たりの診療収入	円	13,380円	13,490円	13,187円
入院診療	1日当たりの患者数	人	70.1人	68.2人	74.8人
	1人1日当たりの診療収入	円	34,460円	32,990円	31,411円
	（第3病棟入院単価）	円	(38,490円)	(35,440円)	(30,683円)
	（第5病棟入院単価）	円	(33,940円)	(33,060円)	(35,049円)
	（第9病棟入院単価）	円	(30,600円)	(29,910円)	(29,564円)
	回復期病棟リハビリ単位数	単位	—	—	6.4
内視鏡	内視鏡検査人数	人	2,247	2,105	2500
	内視鏡手術件数	件	415	434	500

2) 支出面

区分	項目	単位	R4年度実績	R5年度実績	R6年度KPI
人件費	人件費率（対医業収益比率）	%	94.6%	96.0%	87.0%
材料費	材料費率（対医業収益比率）	%	24.3%	23.9%	22.4%
業務委託費	委託業者及び仕様内容の変更により、R5年度比目標▲50,000千円				

7. 施設管理

1) 管理施設の内容

県との基本協定に基づき、次の施設の管理を行います。

区分	構造	階層	竣工年度	延べ床 面積 (㎡)
本館棟	RC	6	昭和48	17,771.25
機械室棟	RC	2	昭和48	
小児病棟	RC	4	昭和50	
診療棟	RC	2	昭和53	
CT棟	RC	2	昭和58	
検査棟	S	2	昭和60	

2) 主な利便施設

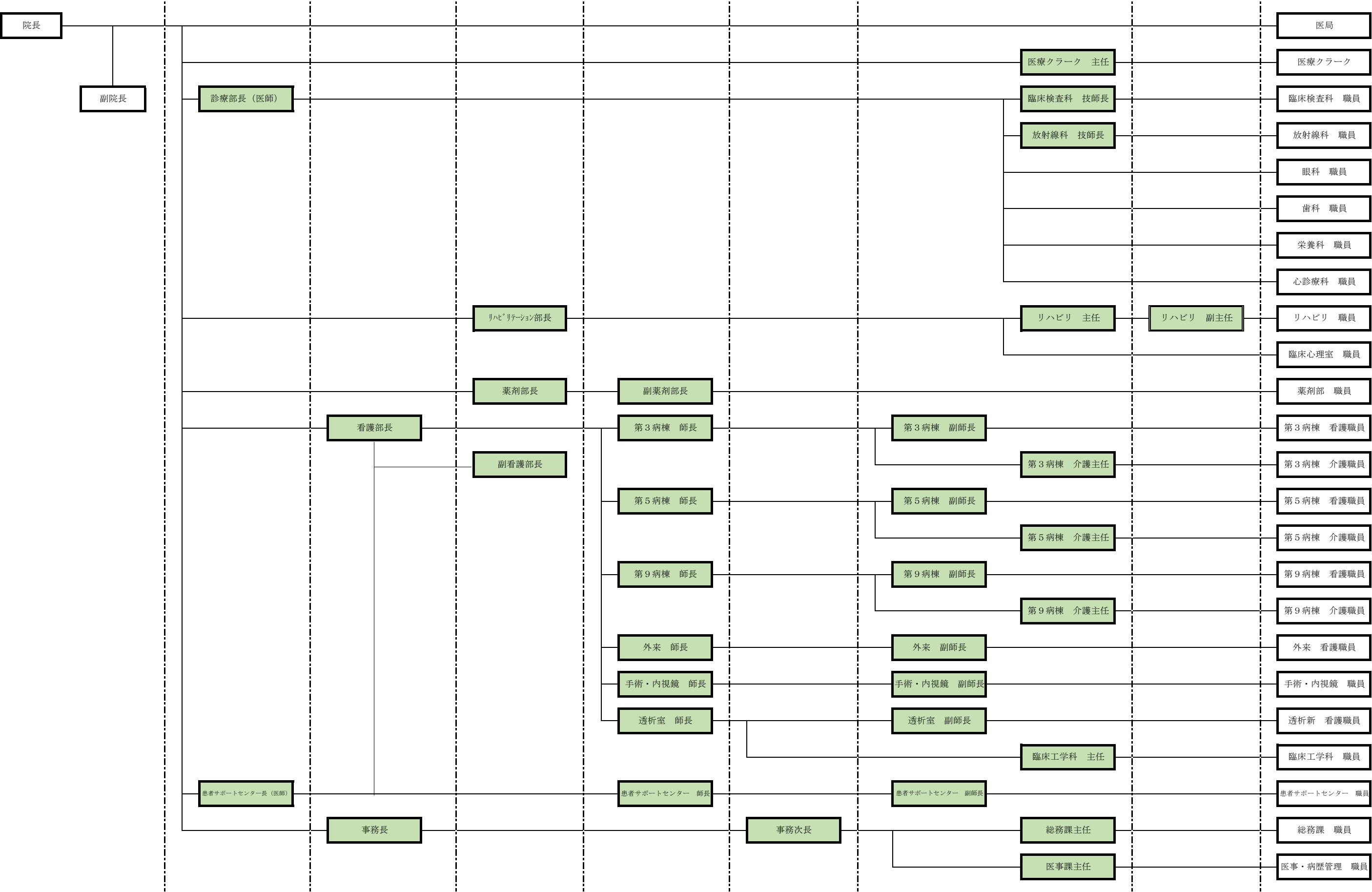
これまでと同様に売店をご利用いただけるよう努めます。

運営業者	同仁会
設置場所	1階 中央エレベーター前
定休日	日曜、祝日、年末年始（12月31日～1月3日）
営業時間	平日 8時～17時30分 土曜 8時30分～13時30分
内容	入院用品、介護用品、リハビリ用品、日用品、食品、雑誌、下着、衣料品、 テレホンカード、イヤホン、テレビカード、切手、商品券等

3) 主な業務委託等

主な委託業務	委託内容	委託業者名
医療事務委託	医療事務の委託	(株) エム・エス・シー
物品管理・調達等業務委託	診療材料等の調達・管理等の委託	エア・ウォーター東日本(株)
清掃業務委託	院内清掃の委託	(株) 新潟県ビル管理協同公社
病棟補助等業務委託	病棟、外来、検査室等における補助業務（人材派遣）	(株) 東新
警備・電話交換手業務委託	夜間・休日の警備及び宿日直業務、電話交換業務の委託	(株) 関越サービス
建物管理業務委託	建物およびボイラー設備の管理業務	(株) 関越サービス
洗濯業務委託	看護衣、診察衣等の洗濯業務の委託	新潟県基準寝具(株)

【新潟県立吉田病院組織体系図】



【令和6年度 収支予算書】

単位：千円

			R6年度
病院事業収益			2,827,894
医業収益			1,944,570
診療収益			1,892,453
入院収益			899,750
外来収益			992,703
その他医業収益			52,117
室料差額収益			14,773
健康診断収益			26,665
受託検査施設利用収益			0
その他医業収益			10,679
医業外収益			883,324
受取利息			0
預金利息			0
有価証券等利息			0
補助金			0
補助金			0
政策医療交付金等			871,299
長期前受金戻入			0
看護師養成収益			0
がん登録事業収益			0
その他医業外収益			12,025
貸付料			1,050
患者外給食収益			157
その他医業外収益			10,819
特別利益			0
固定資産売却益			0
過年度損益修正益			0
他会計繰入金			0
その他特別利益			0
病院事業費用			2,827,894
医業費用			2,724,915
給与費			1,623,578
給料			1,623,578
手当等			0
賞与引当金繰入額			0
賃金			0
報酬			0

		法定福利費	0
		法定福利費引当金繰入額	0
		退職給付費	0
	材料費		418,223
		薬品費	299,560
		診療材料費	118,151
		給食材料費	0
		医療消耗備品費	512
	経費		677,288
		厚生福利費	1,751
		報償費	44,303
		旅費	3,572
		消耗品費	5,426
		消耗備品費	1,018
		光熱水費	78,553
		燃料費	43,224
		交際費	0
		食糧費	79
		修繕費	54,272
		修繕引当金繰入額	0
		特別修繕引当金繰入額	0
		保険料	1,846
		通信運搬費	3,704
		賃借料	23,683
		委託料	396,401
		貸倒引当金繰入額	910
		雑費	18,547
		その他引当金繰入額	0
	減価償却費		0
		建物減価償却費	0
		器械備品減価償却費	0
		有形リース資産減価償却費	0
		その他有形資産減価償却費	0
		無形固定資産減価償却費	0
	指定管理者負担金		0
	資産減耗費		1,207
		たな卸資産減耗費	1,207
		固定資産除却費	0
	研究研修費		4,619
		研究旅費	676

		図書費	2,398
		その他研究研修費	1,544
	医業外費用		102,979
		支払利息及び企業債取扱諸費	4,080
		企業債利息	0
		長期借入金利息	0
		一時借入金利息	4,080
		企業債手数料及取扱費	0
		長期前払消費税償却	0
		看護師養成費	0
		看護師養成給与費	0
		看護師養成経費	0
		がん研究費	0
		がん登録事業費	0
		がん登録給与費	0
		がん登録経費	0
		その他医業外費用	98,899
		患者外給食材料費	141
		消費税損失	98,508
		雑損失	250
	特別損失		0
		固定資産売却損	0
		減損損失	0
		固定資産除却費	0
		過年度損益修正損	0
		退職給付引当金	0
		繰延勘定廃止	0
		リース取引	0
		その他特別損失	0
	たな卸資産購入限度額		0
	損益額		0